VMware コンテンツ ライブラリの管理

この章は、次の項で構成されています。

- VMware コンテンツ ライブラリについて，1 ページ
- VMware コンテンツ ライブラリ アイテム レポートの表示，2 ページ
- VMware コンテンツ ライブラリの同期，2 ページ

VMware コンテンツ ライブラリについて

コンテンツ ライブラリは、VM テンプレートとその他のタイプのファイル用のコンテナ オブジェクトです。単一の VMware vCenter サーバ インスタンスからコンテンツ ライブラリを作成して管理することができます。他の VMware vCenter インスタンス間で HTTP トラフィックが有効になっている場合は、それらのインスタンスでライブラリ テンプレートを共有できます。

（注） VMware コンテンツ ライブラリの検出は、VMware vCenter バージョン 6.0 以降でのみサポートされます。

Cisco UCS Director では、次のタイプのコンテンツ ライブラリについてレポートを検索して表示できます。

- ローカル ライブラリ（Local library）：ローカル ライブラリを使用して、単一の VMware vCenter インスタンスにアイテムを保存できます。他のシステムのユーザがライブラリに登録して利用可能なテンプレートにアクセスできるように、ローカル ライブラリを公開できます。
- 登録済みライブラリ（Subscribed library）：公開されているローカル ライブラリに登録できます。ライブラリのコンテンツと利用可能なテンプレートにアクセスできるように、登録済みライブラリを同期させる必要があります。VMware vCenter では、一定の間隔で自動同期が実行されます。

（注） コンテンツ ライブラリ インベントリ検出を実行するには、Cisco UCS Director と VMware vCenter システムに同じ NTP サーバが設定されている必要があります。

コンテンツ ライブラリのテンプレートを使用すると、すべての VMware vCenter サーバに仮想マシンを展開できます。

コンテンツ ライブラリ ベースの VM プロビジョニング用カタログの作成を参照してください。

VMware コンテンツ ライブラリ アイテム レポートの表示

コンテンツ ライブラリ アイテム レポートを表示すると、コンテンツ ライブラリのコンテンツを確認できます。コンテンツ ライブラリ アイテム レポートには、コンテンツ ライブラリで利用可能な VM テンプレートとその他のファイルが表示されます。

手順

ステップ 1 [仮想（Virtual）] > [コンピューティング（Compute）] を選択します。

ステップ 2 [コンピューティング（Compute）] ページでクラウドを選択します。

ステップ 3 [コンピューティング（Compute）] ページで [コンテンツ ライブラリ（Content Libraries）] をクリックします。

ステップ 4 レポートを表示するコンテンツ ライブラリを含む行をクリックします。

ステップ 5 [詳細の表示（View Details）] をクリックします。
コンテンツ ライブラリ アイテム レポートに、ファイルの情報（種類、サイズ、作成日、最終更新日、最終同期日など）も含めて、コンテンツ ライブラリで使用可能なすべてのファイルが表示されます。

VMware コンテンツ ライブラリの同期

Cisco UCS Director では、登録済み VMware コンテンツ ライブラリを同期させて、利用可能な最新のコンテンツやテンプレートを表示することができます。

はじめる前に

Cisco UCS Director と VMware vCenter システムに、コンテンツ ライブラリ インベントリ検出用に設定された同じ NTP サーバがあることを確認します。

手順

ステップ 1 [仮想（Virtual）] > [コンピューティング（Compute）] を選択します。

ステップ 2 [コンピューティング（Compute）] ページでクラウドを選択します。

ステップ 3 [コンピューティング（Compute）] ページで [コンテンツ ライブラリ（Content Libraries）] をクリックします。

ステップ 4 同期させる登録済みコンテンツ ライブラリを含む行をクリックします。

ステップ 5 [同期（Sync）] をクリックします。

ステップ 6 [送信（Submit）] をクリックします。